

令和2（2020）年度

事業報告書

自：令和 2年（2020年） 4月 1日

至：令和 3年（2021年） 3月31日

社会福祉法人 まどか

理事長 神谷 和孝

社会福祉法人まどか  
令和2（2020）年度 事業報告

1. 理事会の開催

2020年 5月30日（土）	2020年12月 5日（土）
2021年 3月26日（金）	

2. 評議員会の開催

2020年 6月21日（日）
----------------

3. 定款の変更及び認可

特になし。

4. 指定の変更および届出

2020年 5月 1日	運営規程（就労継続B型）の変更
2020年 6月 1日	運営規程（就労継続B型）の変更
2020年 7月 1日	運営規程（就労継続B型）の変更
2021年 2月11日	運営規程（就労継続B型）の変更
2021年 3月15日	運営規程（就労継続B型）およびその他の変更

5. 施設整備

特になし。

6. 2020年度 社会福祉法人指導監査結果

実施なし。

7. 施設運営（2021年3月末現在）

① 利用定員

すみれ工房	1日当たり	20人（小規模多機能型）
就労移行支援	1日当たり	6人
就労継続支援B型	1日当たり	14人
とまり木		
地域活動支援センター	1日当たり	20人

② 職員数

すみれ工房		
管理者	1名	（常勤兼務）
サービス管理責任者	1名	（常勤兼務）
就労移行支援		
就労支援員	1名	（常勤）
職業指導員	1名	（常勤）
生活支援員	1名	（非常勤兼務）
就労継続支援B型		
職業指導員	2名	（非常勤、非常勤兼務）
生活支援員	1名	（常勤）
とまり木		
地域活動支援センター		
施設長	1名	（常勤）
生活支援員	3名	（非常勤）

③ 主な年間行事

月	行事名
9月	防災避難訓練
12月	クリスマス会、大掃除・納会
2月	防災避難訓練
通年	産業カウンセラーによるカウンセリング、体力作り事業（スポーツレクリエーション）※ 10月以降感染対策の上、小規模にて実施。

④ 役職員研修等の実施状況（自主研修含む）

実施年月日	研修名 等	参加者
2020年 6月25日 6月26日	広島県相談支援初任者研修（オンライン）	職員 3名
2020年 7月17日	虐待防止とクレーム対応研修（オンライン）	職員 3名
2020年 8月13日	「福山市 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（職場編）」に基づく高齢者施設等向け講習（eラーニング型式）	職員 3名
2020年 9月 3日 9月 4日	広島県相談支援初任者研修（オンライン）	職員 1名
2020年10月12日	広島県相談支援初任者研修（オンライン）	職員 1名
2020年11月13日	広島県相談支援初任者研修（オンライン）	職員 1名
2020年12月22日 12月23日	広島県サービス管理責任者研修（オンライン）	職員 1名
2021年 1月24日	新型コロナ感染症対策研修（オンライン）	職員 2名

⑤ 関係団体との連絡会議等

福山市障がい者地域総合支援協議会（就労支援部会、地域生活支援部会）
福山・府中障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク会議 （委員会幹事委員会、就労支援部会）
一般社団法人 トータルライフサポートふくやま
福山市社会福祉施設連絡協議会
福山市障害者(児)施設連絡協議会
福山小規模作業所連絡会
広島県精神障害者支援事業所連絡会
福山市地域福祉貢献活動協議会

8. 実習受入れ等

- ・福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習  
受け入れ期間：2020年 7月 8日～12月 9日（計29名）
- ・広島県立福山北特別支援学校 高等部 職場体験実習  
受け入れ期間：2020年 7月15日～ 7月16日（計1名）

- ・福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 精神保健福祉援助実習  
受け入れ期間：2020年 9月 1日～ 9月10日（計1名）  
受け入れ期間：2020年11月 4日～11月12日（計1名）

## 9. 情報公開

法人ホームページおよび WAM NET（社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム）、全国社会福祉法人経営者協議会の web ページにて法人の事業活動および財務状況を公開。  
また、法人機関紙（年4回発行）と SNS（Facebook）にて活動状況を随時公開。

## 10. 法人が実施している公益的取組について

福山市地域福祉貢献活動協議会へ参画、「くらしの相談窓口」として多様な相談を受け対応を行っている。

# 障害福祉サービス事業所 すみれ工房 令和2（2020）年度 事業報告

## 利用実績および経営状況について

### ○ 就労移行支援事業

今年度の利用状況は暫定利用期間の利用者を除けば、前期は利用者 1 名のみの状況が継続しており、後期に 2 名の新規利用者を獲得しましたが、利用者の獲得で特に苦慮した一年でした。月平均利用契約者数においては 1.75 名と前年度より 2 名減少し、年間利用率でも前年度と比較して 15.7 ポイント減少の 28.1%となるなど低迷し、事業開始より過去最低の水準となりました。大きな要因としては新型コロナウイルス感染症の流行により、見学や相談の件数が減少するなどの影響が大きかったと考えられますが、当事業所の魅力を十分に発信できていないことも要因です。

就労実績については、前年度後期の就労者の定着にも注力し無事に職場定着を継続するに至りました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行による影響も少なくなく、ハローワークを始めとする他の就労支援機関との連携し、精力的な活動を試みましたが、新規の就労実績には至りませんでした。

経営面では、昨年度の就労定着実績が 1 割以上 2 割未満のため、基本報酬で最高単価だった昨年度より約半減したこと、利用率の大幅な減少も重なり昨年度の 7,971,890 円より 5,309,437 円の大幅な減収の 2,662,453 円と落ち込み、様々な課題を残した一年となりました。

月別の利用登録者および利用者数の推移 (人)

	契約者	延べ利用者	1 日平均	新規契約者	退所者
4 月	2	43	1.95	1	
5 月	2	44	2.00		1
6 月	1	21	1.00		
7 月	1	22	1.00		
8 月	1	21	1.00		
9 月	1	22	1.00		
10 月	1	31	1.35	1	
11 月	2	47	2.24	1	
12 月	3	50	2.38		1
1 月	2	51	2.43	1	
2 月	3	52	2.60		1
3 月	2	28	1.27		
計(平均)	21	432	1.69	4	3
前年度	45	680	2.63	3	7
前年比較	△ 24	△ 248	△ 0.94	1	△ 4

※ 契約者の計は、各月 1 日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者：5 名、月平均利用契約者：3.75 名

○ 就労継続支援(B型)事業

今年度の月平均利用契約者数は前年度より 0.83 名増の 26.58 名と微増しましたが、年間利用率では前年度と比較して 19.5 ポイント増の 92.4%と事業開始以後の最高水準となるなど、大幅に好転しました。年度当初は新型コロナウイルス感染症の流行による利用控えなどの影響もありましたが、感染症対策や利用者個々への働きかけにより安定的かつ継続的に利用していただくことができたこと、就労移行支援の暫定利用後に当事業の利用をされた方、相談機関等からの紹介から多数の利用契約に至ったことなどが大きな要因として挙げられます。

経営面においては、利用契約者数および利用率ともに好転したことで、昨年度の 18,372,654 円より 7,197,885 円増収の 25,570,539 円となりました。

相談事業所等からの紹介を多数受けられたことは、当事業の取り組みについて一定の評価を得られているものと受け止めつつ、その期待に応えることができるよう、現在の取り組みを継続するとともに、より一層本人のニーズに沿った支援を目指していきます。

月別の利用登録者および利用者数の推移 (人)

	契約者	延べ利用者	1日平均	新規契約者	退所者
4月	25	212	9.64	1	1
5月	24	251	11.41		1
6月	25	272	12.95	2	
7月	25	290	13.18	2	
8月	27	290	13.81		
9月	27	282	12.82		
10月	27	308	13.39		
11月	27	312	14.86		
12月	27	289	13.76	1	
1月	28	250	11.90	1	1
2月	27	266	13.30	1	
3月	30	312	14.18	2	1
計(平均)	319	3,334	12.93	10	4
前年度	309	2620	10.21	7	9
前年比較	10	714	2.73	3	△ 5

※ 契約者の計は、各月 1 日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者：34 名、月平均利用契約者：26.58 名

利用者の状況 (令和 3 年(2021 年)3 月末現在)

男女比		障害種別(重複あり)					年齢層						
男性	女性	身体	療育	精神	発達	他	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均年齢
26	7	0	7	20	6	2	2	6	8	3	9	5	44.42

## 就労支援および就労実績、生産活動について

### ○就労移行支援事業

今年度は新規求人数の減少を始めとして新型コロナウイルス感染症の流行が大きく影響した一年でした。また、前期は利用者1名のみの状況が継続するなど新規利用者の獲得にも苦慮した一年でした。このような中、引き続き利用者のニーズに特化した個別支援プログラムを中心とした就労支援を実施。ハローワークを始めとする他の就労支援機関との連携し、精力的な活動を試みましたが、新規の就労実績には至らず、平成25年度以来の就労実績0名となりました。

昨年度に就労された方については、新型コロナウイルス感染症の流行から企業訪問等が困難な中、本人や企業担当者との電話連絡を密に行うことで定着維持を図り、就労定着実績1名とすることができました。

その一方、近年参加していた福山北特別支援学校の福祉事業所合同説明会が新型コロナウイルス感染症の流行を受け中止となり、職場体験実習の受け入れも1件に留まりました。

市内における就労移行支援事業の重要性を踏まえ、精神障害だけでなく多様な障害の受け入れをより円滑に行えるよう支援スキルの向上に一層取り組んではいますが、職員の退職もあり、就労支援を担える人材の安定的の確保と育成についての課題は大きく、当事業の活動を広く周知し、事業継続を行っていく上でも大きな課題となっています。

### ○ 就労継続支援(B型)事業

今年度の生産活動においては総支給額で2,402,172円と昨年度の1,908,370円と比較して493,802円の増額となりました。また、利用率が最高水準となる中でも月額平均工賃においては、昨年度より263.3円増額し、10,178.7円と事業開始以来の最高額となりました。新型コロナウイルス感染症の影響から年度当初には緊急事態宣言を受けて受託元の企業が休業するなど日々の作業量の確保に奔走する時期もありましたが、昨年度末に新規作業受託に伴う受託作業の見直しを行ったことが、大きな要因としてあげられます。

このような中、利用率の好転がある一方で作業環境や支援方法など現在の手狭な環境の中で模索している現状がより一層顕著となっており、事業活動を拡充していく上での物理的な障壁となっていることを痛感しています。また、就労移行支援事業と同様に職員の退職もあり、利用される方が安心して活動できるよう人材の安定的の確保と育成についても課題として取り組んでいく必要があります。

就労支援については、将来的に一般企業での就労を希望されている方もいるため、当事業所の移行支援事業への利用変更も念頭に、引き続き利用者個々の体調や希望を踏まえつつ、一般企業での就労意欲が高まるよう、日々の活動を通じて促すことで取り組んでいきます。



福山市障がい者等地域活動支援センター事業実績説明書（令和2年度分）

1 センター名称 .....とまり木.....

2 利用者の定員 .....20人

(うち身体障がい者.....2人, 知的障がい者.....5人, 精神障がい者 37人, 障がい児.....0人)

3 各月の事業実施日数及び利用者数等

月	事業実施日数	在籍者数 (各月1日現在)	各月の平均利用者数	新規利用者数	利用休止・中止者数
4	21日	42人	14.0人	1人	0人
5	20日	43人	13.4人	0人	0人
6	21日	43人	13.8人	1人	0人
7	21日	44人	12.8人	0人	0人
8	21日	44人	12.6人	0人	0人
9	21日	44人	14.0人	0人	1人
10	23日	43人	15.2人	1人	0人
11	19日	44人	15.0人	0人	1人
12	21日	43人	14.0人	1人	1人
1	20日	43人	13.7人	0人	0人
2	18日	43人	13.3人	1人	0人
3	22日	44人	12.9人	1人	0人
計	日			6人	3人

注；各月の「月別利用状況報告書」（様式第5号）に基づいて記入すること。

4 事業内容 (必要に応じて別紙使用又は資料等添付も可)

別紙1.令和2年度 実施事業の経過及び内容を参照

(裏面に続く)

5 年度内における職員の異動状況

(1) 新規採用

非常勤 1名 R3.3.13付

(2) 退職

非常勤 1名 R3.3.31付

6 関係団体等との連絡会議，保護者会及び職員研修の実施状況

実施年月日	会議等の種別	内 容 等
令和2年 7月17日	オンライン研修 「虐待防止とクレーム 対応」	広間県障害者支援事業連絡協議会、会長並びに広島県 障害福祉サービス適正運営・振興協議会、会長 の森 木聡人氏を招いて権利擁護とクレーム対応について 研修。(全員研修)
令和2年 5月21日	総合支援協議会 地域生活支援部会	生活部会の委員として出席
令和2年 8月6日		
令和2年 11月12日		
令和2年 6月24日	小規模作業所連絡会 役員会	小規模作業連絡会の役員として出席
令和2年 7月15日		
令和2年 10月12日		
令和2年 6月12日～ 26日	オンライン研修 令和2年度 広島県相談支援従事者 初任者研修	相談支援専門員研修(職員研修)
令和2年 9月3日		
令和2年 10月12日		
令和2年 11月12日～ 13日		
令和3年 1月24日	オンライン研修 新型コロナウイルス感 染症に対する障害者施 設等の職員の為のサポ ートガイド作成業務	萱間直美事業代表他各研修班によって新型コロナ感 染症に対し職員、事業所、管理者それぞれの立場での 心理的ケアを中心とした研修。

**令和2年度 実施事業の経過及び内容**

地域活動支援センター とまり木

「地域活動支援センター事業」として、自立した日常生活を営むことができるよう創作活動や生産活動の機会の提供及び社会交流の促進に一層創意工夫しつつ一定の成果を出すことができた。

**【実施行事】**

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業カウンセラー・高橋恵子氏によるカウンセリング（社会的自立に向けた相談支援）</li> </ul> 原則 毎週金曜日
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力作り事業（健康・地域交流）</li> <li>障害者体育センターに於いて運動（主に球技）を行う</li> </ul> 原則 毎月第4土曜日
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さをり教室」（村田紀美子氏）（創作活動・地域交流）</li> </ul> 原則 毎週火曜日

※本年度は新型コロナウイルス感染症の為ほとんどの行事、レクレーションは自粛。